

ノックワン[®] 粒 剤

ピラゾキシフェン・プロモブチド粒剤

(取扱メーカー) 石原産業株式会社
日本農薬株式会社

対象作物：移植水稻。

成分・作用特性：本剤は、2-[4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]アセトフェノン……ピラゾキシフェン7%と(RS)-2-ブロモ-N-(α , α -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド……プロモブチド5%を含有する類白色の細粒である。

本剤は、ピラゾキシフェンの作用とプロモブチドの作用の特性を活かし、極めて高い除草効果を発揮する。ピラゾキシフェンは、雑草の茎葉部と根部から吸収されるが、主に茎葉部を通じて吸収され、雑草の上方、下方いずれにも容易に移行する。その作用は、主に白化による光合成の阻害、それに伴う雑草の飢餓状態、衰弱を経て枯死に至る。一方、プロモブチドは雑草の幼芽部および根部から吸収されるが、根から吸収された成分は容易に茎葉部へ移行し、雑草の生長点の細胞分裂を阻害する結果、生育を強く抑制し、雑草を徐々に枯殺する。

特徴：①広範囲の雑草に有効である。ピラゾキシフェンとプロモブチドとを混合したことにより、ノビエ・コナギ・タマガヤツリ等の一年生雑草はもとより、マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ヒルムシロ・ミズガヤツリ等の多年生雑草まで広範囲の雑草全般に極め

て高い効果を発揮する。②除草効果が安定している。特にホタルイに対しては種々の条件においても確実な効果を示すので、ホタルイの多発する水田でも十分な力を発揮する。③抑草期間が長い。適地においては、適期処理することにより、雑草の発生を長期にわたり抑えるので、中期剤を省略することができる。④水稻に対する安全性が高い。ピラゾキシフェンおよびプロモブチドは共に温度、土壌条件などに影響されることがほとんどなく、薬害の発生が少ない除草剤である。⑤人畜に対する毒性が低く、魚介類に対しても安全性が高い。

毒性：急性経口毒性は普通物、魚毒性はB類である。

使用方法：移植後3日から8日までに、10a当たり3kgを湛水散布する。より優れた除草効果を発揮させるには、代かきから移植までの期間をできるだけ短くし、雑草発生始めの移植後5日頃までに散布するとよい。

使用上の注意：①雑草の発生始期散布の効果が高いので、時期を失しないように早めに使用する。また、多年生雑草は、生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布する。ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期が本剤の散布適期である。②苗の植付けが均一となるように、代かきをていねいに行なう。③散布にあたっては、水の出入りを止め、湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも、4～5日間は通常の湛水状態(3～5cm程度)を保ち、田面が露出することのないようにし、また落水やかけ流しはしない。④軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、砂質土で漏水の大きな

新 除 草 ・ 調 節 剤

水田、極端な深水となった水田では薬害が生ずるおそれがあるので使用しない。⑤北海道の泥炭質土壌のウリカワ多発田では使用しない。

サリオ®粒剤

ピラゾレート・プロモブチド粒剤

(取扱メーカー) 三 共 株 式 会 社
北興化学工業株式会社
山 本 農 薬 株 式 会 社

対象作物：移植水稻。

成分・作用特性：本剤は4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリル-p-トールエンシルホネート……ピラゾレート7%と(RS)-2-ブromo-N-(α , α -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド……プロモブチド5%を含有する類白色の細粒である。

本剤は、ピラゾレートの作用と、プロモブチドの作用の特性を活かし、極めて高い除草効果を発揮する。ピラゾレートは水田中で加水分解を受けて変化したデストシルピラゾレート(DTP)が除草活性の本体であり、水に良く溶けるので植物体内に容易に吸収されて殺草効果を発揮する。その作用は、クロロフィル(葉緑素)の生成を阻害し、いわゆる栄養飢餓状態から雑草を枯死させる。一方、プロモブチドは、雑草の幼芽部および根部から吸収されるが、根から吸収された成分は容易に茎葉部に移行し、雑草の生長点の細胞分裂を阻害する結果、生育を強く抑制し、雑草を徐々に枯殺する。

特徴：①広範囲の雑草に優れた効果。ノビエ・

コナギ等の一年生雑草から、マツバイはもとよりホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ等の多年生雑草まで広範囲の雑草に優れた除草効果を発揮する。②ホタルイの特効薬。水田雑草に対して、広い殺草スペクトラムを有するが、中でも最近の重要雑草であるホタルイに対して安定した高い効果を発揮する。③長期間の抑草。本剤の両成分とも土壌中での移動性は比較的小さく、土壌吸着性も優れているため、雑草の発生を長期間にわたって抑制する。④水稻に対する安全性が高い。ピラゾレート、プロモブチドの両成分とも稲-雑草間の選択殺草性が大きく、水稻には高い安全性を有する。したがって、各種土壌条件や地域性に左右されることが少なく、安心して使用することができる。⑤人畜・魚介類に安全性が高い。人畜毒性および魚毒性は低く、使用時安全性の高い除草剤である。

毒性：急性経口毒性は普通物、魚毒性はB類である。

使用方法：移植後3日から8日までに10アール当たり3kgを湛水散布する。より優れた除草効果を発揮させるには、代かきから田植えまでの期間はできるだけ短くし(3日間程度)、移植後3日から5日までに散布する。

使用上の注意：①雑草の発生前から発生始期の散布が効果が高いので、時期を失しないように早めに使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布する。ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカでは発生前から2葉期、ヒルムシロでは発生期までが本剤の散布適期である。②苗の植付けが均一となるように、代かきはい